

情報科学 C2 第 1 回 Word 課題

下記「〜〜〜」以下に記載されている文章を、Word で作成して下さい。フォント（明朝および Times）・サイズ・レイアウトは概ね同じで OK です。

※学生番号 氏名は自身の情報を記載して下さい。

~~~~~

### 情報科学演習 C2 課題

S001234 島大太郎

## 生涯最高の失敗 田中 耕一

(p139～抜粋)

1985 年 2 月のことです。量ろうとしていた資料は、たぶんビタミン B12 だったと思います。この資料を分析装置にかける準備をしていたときに、私は間違っ、いつも使っているアセトンの代わりにグリセリンを、金属超微粉末と混ぜてしまいました。グリセリンはアセトンとちがってねばねばしていますから、すぐに間違えたことが分かりました。

しかし、金属超微粉末を捨ててしまうのはもったいないので、これも試しに質量を量ってみようと、なんと、その失敗作を実験に使ってしまったのです。

～中略～

さて、いかに「もったいない」からといっても、わけもなく「失敗作」で実験を敢行したわけではありません。私なりに考えたことはありました。

～中略～

このように「間違える」「使う」「レーザー照射」「ずっと観察」という四つの段階が揃ったとき、なにが起こったかー。

それまでに見たことの無かったような現象を、はじめて観察することができたのです。スペクトルの質量数が 1300 あたりに、ピークがあらわれたのです。つまり、分子量が約 1300 の分子を壊さずにイオン化することができたのです。考えてみると、ものすごい偶然の積み重ねの結果でした。

(p148 抜粋)

私の発見は、グリセリンを偶然に金属超微粉末に「こぼして」しまったためです。「グリセリン・粉末・こぼす」のが共通していたから、私がノーベル化学賞に選ばれたとは思えません。